

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森松原校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所・学校・病院・他事業所など様々な経験および資格を持った職員が支援を実施していること。	それぞれの職員の経験や専門性を基に、事例検討を行ったり活動プログラムを考えたりしている。	保護者様への相談援助を行う際に、保護者様のニーズに合った経験や専門性をもつ職員が対応できるようにする。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所で粗大運動などを行うスペースが十分でない。	事業所が狭い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ブースだけでなく、小集団支援スペースも活用して活動する。</li> <li>・支援内容によっては、パーティションを取り払ってスペースを確保する。</li> <li>・限られたスペースで支援内容を満たせるような活動プログラムを開発する。</li> </ul>
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「クラ・ゼミ」青森松原校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 16

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	4	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	1	0	2回連続で活動後のお話が無いことがあり、子どもの様子を話す機会が無いと感じた。	職員の急な欠員などにより、個別支援後のフィードバックの時間を設定できない場合がありますが、できるだけやり取りする機会を確保できるよう尽力いたします。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	0	0	先生の個性が出ていて素晴らしい。	ありがとうございます。今後も、各職員の強みを生かしながらお子様への支援を実施していきたいと思います。
11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8	3	0	5			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	0	5		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0	子どもの良いところを見つけてくれる。	今後も、お子様の良いところや頑張りを捉えてお伝えし、お子様の自己理解や自信に繋がるよう支援していきます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	3	7	父母会等ではなくても困っていないので現状で問題ないです。	今後、保護者様向けの勉強会や交流会を実施していきたいと考えております。ぜひご参加ください。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	1	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	2	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	3	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	3	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	先生方が皆さん優しく、自分を受け止めてくれるとわかって自己肯定感が上がっていると思います。	これからも、お子様が安心して通っていただけるよう尽力いたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0	・とても楽しみにしています。 ・今日の先生は誰だろう？と楽しみに話しています。	お子様の支援は複数の職員で担当しております。今後も、お子様が来所を楽しみにしていただけるよう尽力いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	個別支援の時間を45分ではなくもう少し長くしてほしいです。	現在、個別支援45分を含めた1回1時間の支援を基本としておりますが、今後も保護者様の意向を伺いながら、運営を考えてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森松原校	公表日	2025年 2月 15日
------	-----------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動内容によっては、個別ブースから小集団スペースに移動して活動し、活動に適した空間を設定している。	児童発達支援事業所としては狭い。粗大運動など、活動内容によってはスペースが狭いと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		時間帯によっては、対応できる職員が少ないと感じる場面があるが、対応を工夫して安全面を確保している。	こどもの状態により、他児との組み合わせを配慮しながら利用日時を組むようになっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		パーテーションを使用し、構造化した環境づくりを行っている。	スタッフルームと教材ブースの区切りがパーテーションのみでわかりづらさがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		元々個別スペースで支援を実施している。クールダウンのため、別の空間（相談室）を使用することができる環境にある。	パーテーションで空間を区切っているが、首まではシャットダウンできず、こどもが気にすることがある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者評価は行っていないが、法人内で内部監査を行い、業務改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			今年度中にHPIに公表予定で、行政には提出済み。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		利用開始時に加えて、年1回すべてのこどものアセスメントを行っている。また、ケース会議を定期的の実施し職員で共有している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画を作成・更新する際は、原案会議を行い、全職員で内容を確認している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画を作成・更新する際は、原案会議を行い、全職員で内容を確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		法人で共有利用しているアセスメントシートを使用している。日々の状況はケース会議内で確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			個別支援がメインのため、必要に応じて連携している。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			個別支援がメインのため、必要に応じて連携している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			個別支援がメインのため、必要に応じて連携している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園に通っているこどもがほとんどのため、移行支援の実例があまりないが、園との情報共有・相互連携は都度行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			必要に応じて連携している。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		連絡を取り合うことはあるが、連携まで至っていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・こどもの状況により、保護者参加型の支援を実施しているケースがある。 ・研修は実施していないが、毎回の支援時の相談援助や、地域のペアレントトレーニングの案内などの情報提供を行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		昨年度は保護者参加のファミカフェを実施した。	今年度、保護者同士が交流する機会を創出しようという計画を進めている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			今年度LINEを導入し、保護者との連絡調整がよりスムーズになっている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>		食事提供を行っていないため、対応していない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>				